

■保護者・地域の皆様へ■

令和5年度より植木北中学校・吉松小学校・田底小学校の3校は

「共に学び、たくましく、夢に向かって挑戦する植木っ子」を

小中一貫教育目標に掲げ、「**小中一貫型小学校・中学校**」として

スタートする予定です

現在、熊本市では小中一貫教育が推進されており、現在いくつかの中学校区がすでに「小中一貫校」としてのスタートを切っています。植木北中学校区の3校（植木北中学校・吉松小学校・田底小学校）も、令和3年度「小中一貫教育モデル校」の指定を受け、3校で研究を進め、「(保)小中一貫教育目標」と「小中一貫カリキュラム」を作成しました。今年度（令和4年度）の準備期間を経たのち、来年度（令和5年度）より「小中一貫校」となる予定です。ただ、「小中一貫校」と言っても、下記の（1）～（2）のような「小中一貫校の分類」と（3）～（5）の「施設形態の分類」があり、それぞれに特徴があります。

.....

■小中一貫校の分類

（1）小中一貫型小学校・中学校

- 目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成。
- 小学校・中学校は組織上、独立している。

（2）義務教育学校

- 目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成。
- 小学校・中学校の組織が一体化（1人の校長、1つの教職員組織）

■施設形態の分類

（3）施設一体型

- 小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に設置されている。
(小学校と中学校の校舎が渡り廊下などでつながっているものを含む)

（4）施設隣接型

- 小学校と中学校の校舎が同一敷地又は隣接する敷地に別々に設置されている。

（5）施設分離型（※本校区はこの形態に該当）

- 小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されている。

植木北中学校区の3校は、上記の(1)小中一貫型小学校・中学校となり、(5)施設分離型となる予定です。施設の統廃合はありません。

小中一貫型小学校・中学校としての本校区3校の教育についてのイメージを別紙にまとめてありますのでご覧ください。